

橋本市がNO.1になるための取り組みについて、下記に記述してください。

1. テーマ
市の名所をつくろう！
2. 目的・ねらい (why)
その地域に住む人々が自分たちの手で、駅舎や公園等のペイントや飾り付けを行うことにより、地域と触れ合うきっかけにしよう。また市内に自分たちの手で作り上げられた名所が完成することにより、達成感を得るとともに、地域に対する愛着心を育むことができる。
3. 課題 (what)
<ul style="list-style-type: none">・どこの場所（施設やモノ）を使用できるか、またどの程度の手を加えて良いか明らかにした上で、候補地を挙げておく。・作業に参加してくれる地元住民の年齢層や人数によって、作業期間や行程等調整が必要である。・名所をつくり維持していくためにも、地域住民に理解し協力してもらう必要があるため、その作業場所、施設のある地域に住んでいる人にも作業への参加を呼び掛ける。
4. 対象者・対象範囲 (who・where)
<ul style="list-style-type: none">・デザイン公募 市内、市外問わず興味のある人・作業 市内在住の人、また橋本市に関わりのある人、興味のある人。 <p>作業の場所については、JRや南海の駅舎、市内の公園、コミュニティバス、公民館といった公共施設など、多くの人々が訪れ、利用する場所やモノを使用する。さらに電車から見えるように山の斜面に草木等でデザインを施すなど、景観を利用したものも考えられる。市内全体の複数個所で実施する。</p>
5. 実現手段・内容 (how)
まず対象となる場所（施設やモノ）を発表し、市内・市外問わずデザインを公募する。その際、こういったコンセプトやテーマか、また材料や作業方法（例えば色の塗る方法等）を一緒に考えてもらう。 その後プレゼンにて発表してもらい、デザインを決定する。 デザイン画を元に、地域住民等が作業に入る。 ※基本的には大掛かりな改修や工事を中心とするものではなく、ペイントや飾

り付け等多くの人に参加できる作業を中心にするものを考えている。
※デザイン公募の対象を市外にも広げているのは、若手のデザイナーや芸術大学の学生等に作品発表の場として橋本市に関わってもらい、それを通じて市に興味を持ってもらうことを考えている。
※イメージとしては隅田中学校による隅田駅舎へのペイントがあげられる。

6. 実施時期 (when)

- ・今からでも。
- ・作業期間については半年程度を考えている。

7. 実現するための体制 (who)

- ・JRや南海、作業する地域や施設管理者の協力や連携が必要。
- ・安全管理や作業日程等、企画を進める上での責任者をたてる。
- ・誰がどの期間作業するか、どの作業を担当するか等を管理する。
- ・駅や公園等利用者もいる中での作業となるため、安全面等配慮が必要。

8. 効果

作業をする中で人々が交流し、地域のつながりや輪を広げてもらうことが期待できる。地域の希薄化が言われている現代において、そうした地域の輪を広げていくことは、そこに住む人々が安心して暮らしていけるという橋本市の魅力につながり、定住を促進する上での一つの材料となる。

また新たな名所が市内にできれば、市の資源としてアピールができる。さらに実際に市にある名所の付近に新たな名所ができれば、相乗効果により集客が見込まれ、市内の資源の再生にもつながり、市内の活性化が図られる。さらに名所各地にスタンプラリーを設置するなどイベントを開催すれば、市内を巡ってもらうきっかけができる。

9. その他